

協力願い！



南アルプス
ユネスコエコパーク

外来種「オオキンケイギク」駆除



●オオキンケイギクとは

北アメリカ原産のキク科の植物で5月～7月頃にかけて黄色い花を咲かせます。繁殖力が強く、日本の植物の生息場所を奪う現象が各地で多く見られるため、環境省が「特定外来生物」に指定しています。

●増えるとどうなる？

オオキンケイギクが増えると早川町の植物の数が減ってしまいます。植物だけではなく、そこに集まる昆虫もいなくなり、更に昆虫を食べる野鳥までも減少してしまいます。早川町の自然全体に影響を与えます。他の市町村は増えすぎて手がつけられなくなっていますが、早川町はまだ間に合います。

●早川町の現状

ここ数年の皆さまのご協力によりかなり減少しております。自然関係の専門家の方からも高い評価を得ています。

●お庭で増やすのも禁止です！

厳しい罰則もあり、移動したり増やしたりする、また販売すると3年以下の懲役および100万円もしくは300万円の罰金になります。

●駆除の方法

根から抜き取り、袋に入れ、枯死させた後にゴミとして出す

エコパークに登録された早川町の自然を守るためにも、

駆除のご協力お願い致します！



早川町、早川町観光協会、ヘルシー美里、野鳥公園、NPO 早川エコファーム

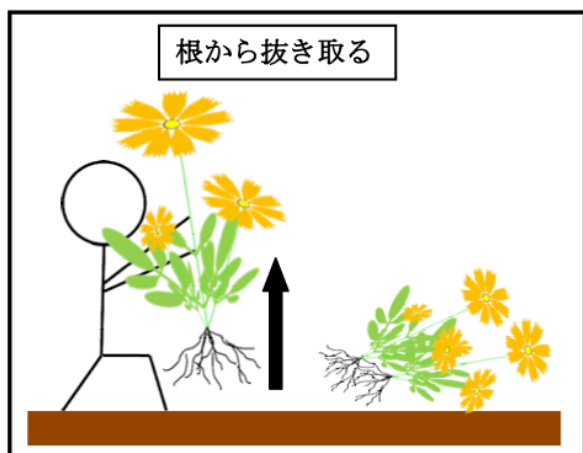
オオキンケイギクの生育を確認した際の対処方法

① オオキンケイギク
を確認※1

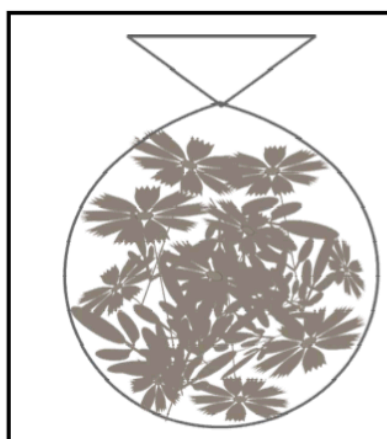
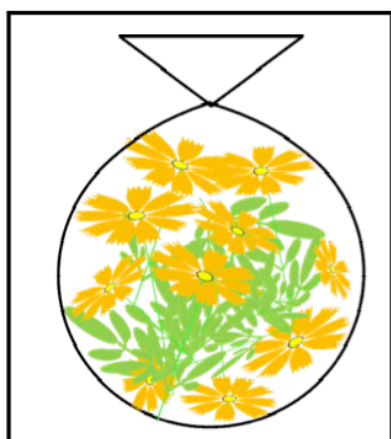


② 駆除の実施※2

駆除方法の例※3



③ 駆除したものの処分※4



各自治体の処
理方法に従っ
て処理してく
ださい。

飛び散らないように袋などに入れ、枯死させたのちに処分する。

* 提供:九州地方環境事務所